

**Ⅲ. ワーク・ライフ・バランス
インデックス調査
結果報告**

1. 実施概要

ワーク・ライフ・バランスインデックス調査は、ワーク・ライフ・バランスに先進的な企業 39 社が集まって開設したワーク・ライフ・バランス塾と学習院経済経営研究所が、有志企業 9 社のデータに基づいて 2006 年に共同研究・開発したワーク・ライフ・バランス指標（以下 WLB-JUKU INDEX）調査であり、今回、その調査票を医療施設版に改変して実施した。

WLB-JUKU INDEX は施設調査と個人調査を組み合わせてデータを収集できるように設定されており、特徴として 1. WLB の状況を体系的に評価できる、2. 職員・経営の両面から政策効果を評価できることがある。

また、本指標は各施設の「WLB の現状」をベンチマーク・データと比較することを通して評価するため、今回モデル事業者の調査と同時に平成 19 年度に実施した WLB INDEX 医療版施設調査結果において、WLB 制度が整っているという高い評価がされた 2 施設も同時に調査を行い、ベンチマーク・データとした。

<調査概要>

I. 個人調査

- 1) 個人調査対象：「平成 20 年度 看護職の多様な勤務形態導入モデル事業」のモデル事業者となった 5 施設及び平成 19 年度 WLB INDEX 医療版施設調査結果で WLB 制度が整っていた 2 病院を加えた計 7 病院に勤務する看護職（非常勤を含む）。
- 2) 調査期間：平成 20 年 8 月 18 日～平成 20 年 8 月 29 日
- 3) 調査方法：郵送配布・回収
- 4) 回収状況：配布数 2,702 件、有効回収数 2,364 件、有効回収率 87.5%

II. 施設調査

平成 19 年度に多様な勤務形態を導入している、または看護職が働きやすい職場であるという情報があった 109 施設に対しワーク・ライフ・バランス インデックス（医療版）施設調査を実施。平成 19 年度調査に参加していたモデル事業 2 施設及びベンチマーク施設は、そのデータを活用。参加していなかったモデル事業 3 施設については、上記個人調査と同時期に施設調査を実施。調査実施時期に 1 年間の差異が生じるが、制度の有無等についてはこの 1 年間で変化がないか確認を行なった。

○平成 19 年 12 月実施施設

聖隷浜松病院、ウエルフェア北園渡辺病院、ベンチマーク 2 施設

○平成 20 年 8 月実施施設

山中温泉医療センター、長谷川病院、徳島大学病院

III. 分析委託：学習院大学経済経営研究所

2. モデル事業事前調査結果

今回のワーク・ライフ・バランス インデックス医療版調査実施の目的は、モデル事業前後の効果の測定であり、詳細な分析は平成 21 年 6 月に実施予定の事業事後調査の結果とあわせて行なう予定である。したがって、本報告書では施設調査と個人調査の単純集計結果データの抜粋のみを掲載する。個人調査ベンチマーク・データは 2 施設の平均、施設調査ベンチマーク・データは 2 施設の回答が異なる場合、①②と分けて掲載している。

特に、個人調査については詳細な集計データは掲載せず、「制度浸透の WLB」指標のみ掲載している。「制度浸透の WLB」指標とは、個々の WLB 制度について、個人がどの程度認知しているのかによって指標の値を算出している。対象となる制度は、個人調査項目の WLB 支援制度の中の育児、介護、その他生活支援に関わる制度を主な対象としている。指標の読み方の詳細については、「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス」学習院大学経済経営研究所編、第一法規を参照されたい。

【参考】

「WLB-JUKU INDEX」の構成



①～②施設調査項目を利用、③～④施設調査・個人調査項目を利用
⑤個人調査項目を利用

「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス」 p140 より 一部改変